

2017-2022 年度 科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」

共に創る未来へ

国立大学法人 名古屋工業大学
ダイバーシティ推進センター

アクセス



[JR東海] 中央本線鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約 400m)

[地下鉄] 鶴舞線 鶴舞駅下車 (④番出口から東へ約 500m)

桜通線 吹上駅下車 (⑤番出口から西へ約 900m)

お問い合わせ先

名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL 052-735-5121

E-mail diversity-center@adm.nitech.ac.jp

HP <http://www.nitech.ac.jp/diversity>

NITech
center
for
Diversity
and
Inclusion

名古屋工業大学ダイバーシティ推進宣言

名古屋工業大学は、「ものづくり ひとづくり 未来づくり」という教育理念を目標に掲げ、グローバルに活躍する「実践的工学エリートの養成」をめざしています。社会のあらゆる分野でダイバーシティの価値が認識され、その推進と活用が求められている現在、本学は、目標達成を確実にするための最優先課題として、工学系分野で未だ少数派である女性研究者・技術者が個性と能力を十分発揮し活躍できる環境の整備とそれを実現するための意識変革を掲げます。

本学は、多くの優れた女子学生を育成し価値ある技術者として産業界へ輩出すること、そして多くの女性研究者を工学コミュニティの自立した一員として招き入れその活動を弛まず支援することを工学におけるダイバーシティ推進の基盤と位置付けます。その基盤の上に、本学は長年培ってきた産業界との連携を含めた戦略的なダイバーシティマネジメントを通じて、多様な人材活用〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉の実現をめざします。

本学における〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉とは、人種、性別、年齢などの違いだけでなく、宗教、母語、文化・社会的背景などの内面的な差異をも含めた、多様な違いを受け入れて活かすことにより、組織全体の強靭さを高め、さらにはイノベーション創出に繋げることをめざすものです。

これらの理念・目標を踏まえ、名古屋工業大学はダイバーシティに基づくオープンイノベーションの実現に貢献するため、以下の基本方針を掲げて積極的に活動することを宣言いたします。

基本方針

1. ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究環境の整備を行う
2. ダイバーシティ推進とその活用の観点から、全構成員の労働環境の整備を行う
3. 〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉の実現に向けた意識変革に努める

あいさつ

わが国の産業は、高品質・高付加価値の製品を世界に発信し、科学技術大国としての地位を築いてきました。しかし、グローバル化の急速な進展とともに、技術の「価値」も多様化し、その成果の社会的価値を、一つの国や地域、文化だけの基準で推し量ることが困難となっています。その一方、環境、エネルギー、人口、食糧など、地球規模で力を合わせて解決しなければならない課題は山積し、科学技術によるイノベーション創出への期待がますます高まっています。すなわち、性別、年齢、母語、文化、宗教など様々に異なる立場から生じる多様な価値観や視点を最大限に活かす努力が、新たな価値ある技術や成果を生み出し、持続可能な社会の原動力となるという認識が高まっているのです。そうした社会情勢の中、工学の世界に、多様な視点と価値観をもたらすための努力、すなわちダイバーシティの推進とそのダイナミックな活用が求められています。

名古屋工業大学では、男女共同参画社会基本法の施行を受けて、平成21年1月に「男女共同参画推進室」を設置し、翌平成22年4月からは学長直属の組織として、人材の多様性推進を本格化させました。その後、平成26年度には、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の採択を機に、教職一体組織の「男女共同参画推進センター」を発足させ、施策の大幅な拡充と女性研究者の研究環境整備の加速を図りました。その3ヶ年の事業を完了した翌年の平成29年度、従前の成果を踏まえさらに地域産業界と連携を強めながら、多様な人材活用〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉の実現をめざす本学の計画は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の採択を受けることができました。これを機に「ダイバーシティ推進センター」を創設し、従来の取組をさらに深化・拡大させていく準備が整いました。

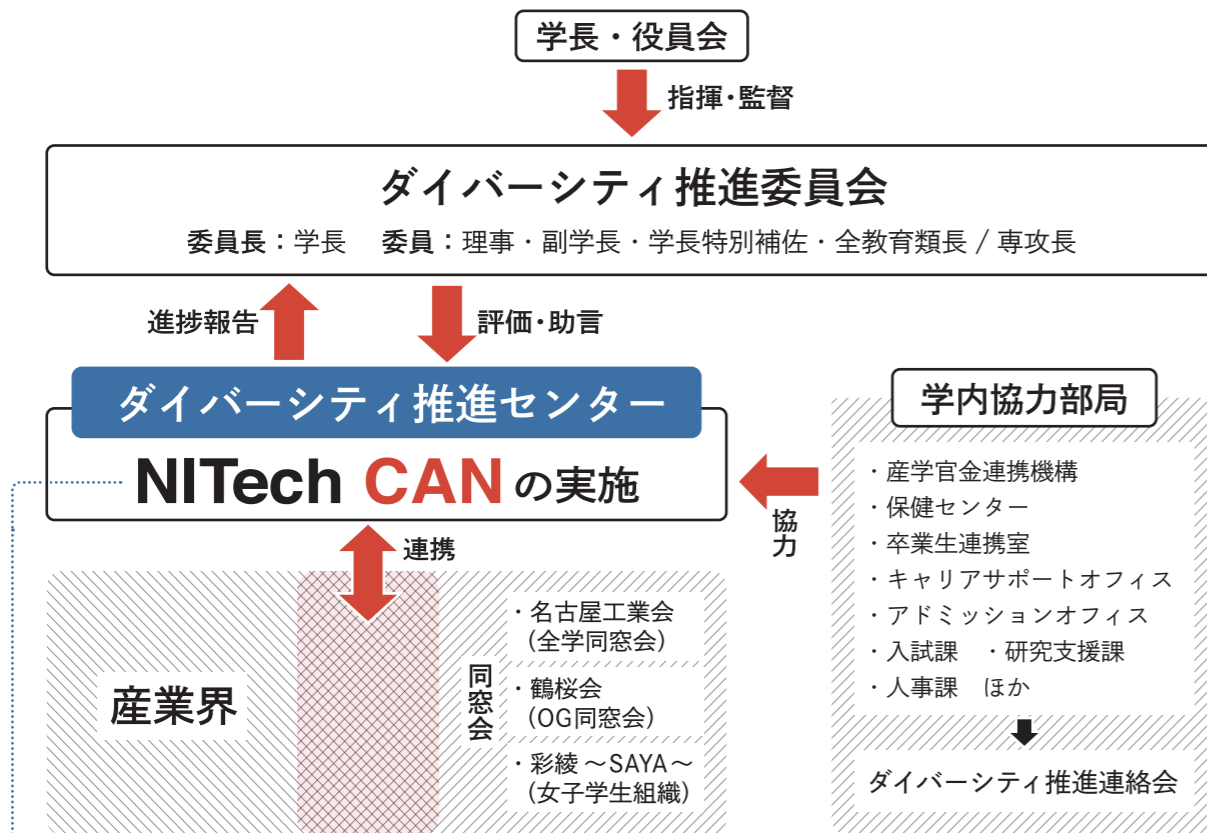
平成28年度からの第5期科学技術基本計画において、オープンイノベーションのための枠組み作りが政策の重要課題として盛り込まれるなど、産学官連携研究の一層の推進は、新たな産業を起こし国際的な競争力を高める鍵とされています。本学では、産学官交流プラザ、産学協同研究講座・部門、プロジェクト研究所、パートナーラウンドテーブルなどの研究連携の仕組みの他、地域の中小企業を対象とした産学官学び合いプログラム、信金などと連携して新たな産業を起こすための事業創造型組織開発事業、名古屋工業大学研究協会など、本学ならではの産学官研究教育連携事業を積極的に進めています。本学がさらに深めようとしている〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉実現のための取組は、こうした産学官連携とも密接にリンクするものです。

国内外の大学・研究機関、産業界、行政、金融界との豊富なネットワークを介して「人」「知」「技術」をつなぎ、ダイバーシティ豊かな人材が互いの違いを認め合い、活かしあいながら、学術・技術で新しい技術の価値を創造しグローバルに発信する拠点。名古屋工業大学がめざすのは、そのようなダイバーシティ豊かで活力に富んだ「工学のイノベーションハブ」です。共に創る工学の輝かしい未来へと、名古屋工業大学はさらに力強く歩を進めてまいります。



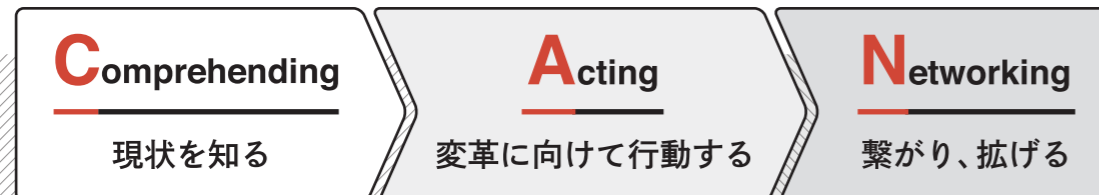
名古屋工業大学長
鵜飼 裕之

実施体制

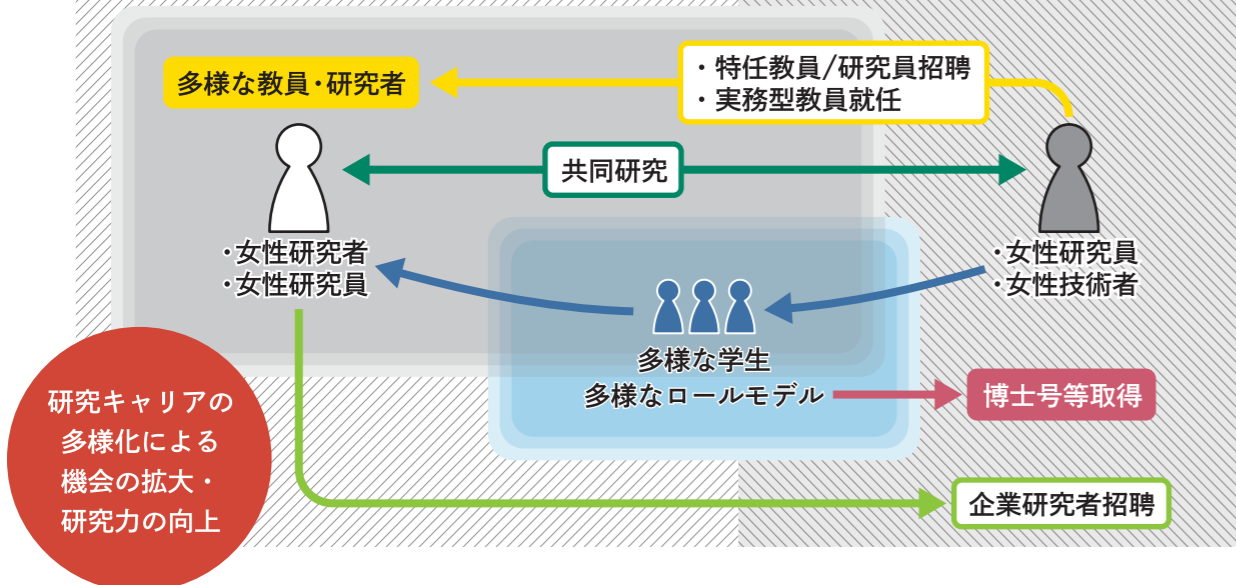


NITech CANの仕組み

産・学で問題を共有し、3ステップで女性研究リーダーを育成



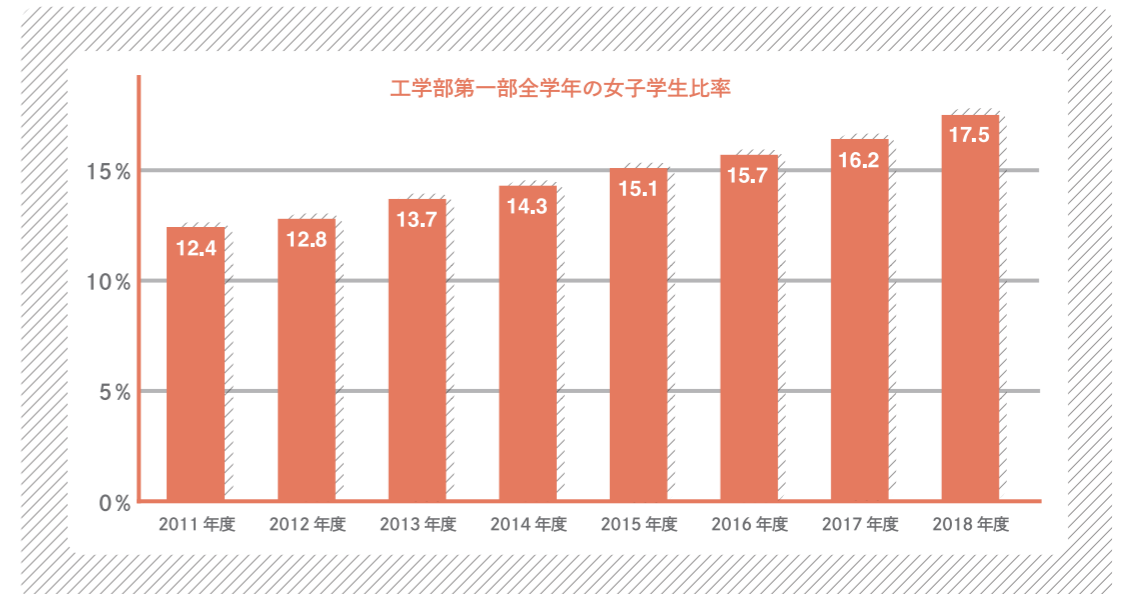
NITech ←→ 産業界



女性比率の変遷

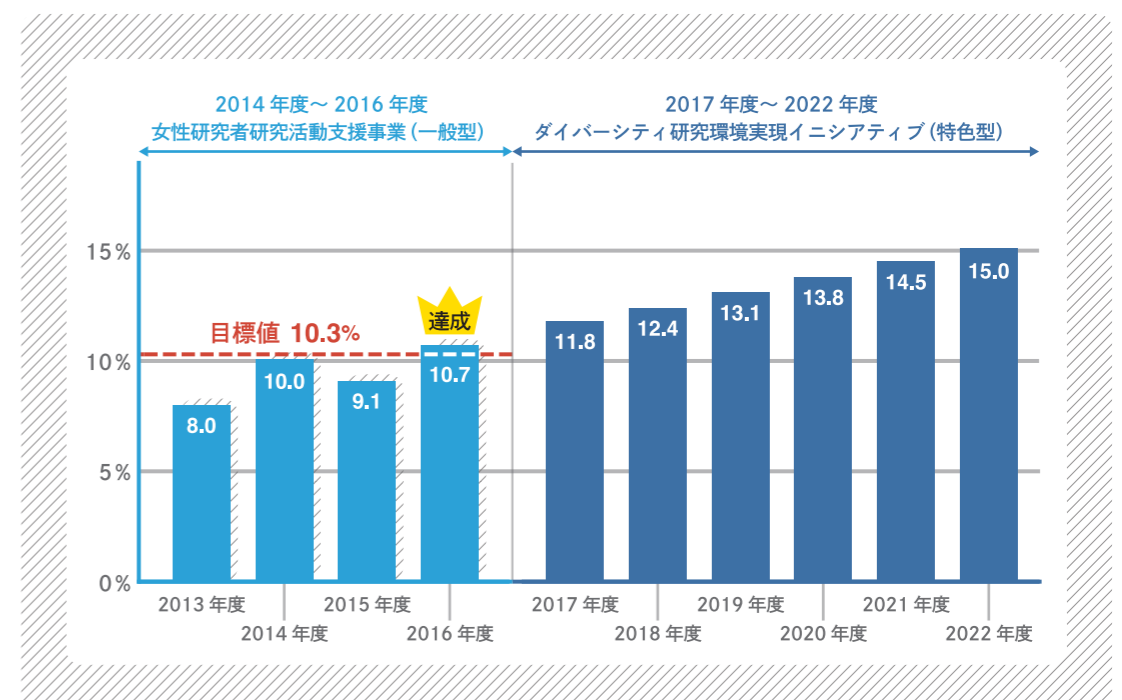
女子学生比率の向上

名古屋工業大学では、女子対象のオープンキャンパス「女子学生のためのテクノフェスタ」を豊田工業大学と共同開催してきたほか、20年以上前から女子推薦枠を設けて女子学生比率の向上を図ってきました。その結果、2018年度入学者の女子比率は全国の工学系大学でトップクラスの19.9%に達しました。



女性研究者比率の向上

2014-2016年度の文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」で目標値として掲げた女性研究者比率は、事業終了時に、目標値を上回る10.7%に達しました。2017年には、さらにそれを上回る11.8%をマークし、2022年度の15.0%（目標値）に向けて、さらに取り組みを進めています。



活動の様子



女性が拓く工学の未来賞

優れた研究業績を挙げることが期待される学内の若手女性研究者を表彰することにより、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の発掘と育成を図っています。



女性研究者・技術者の会

女性が学内で分散・孤立した状況に陥りがちである状況を打破するため創設された女性研究者・技術者の会では、ランチミーティングを通じて交流を深めています。



OG同窓会・鶴桜会

2016年、全学同窓会「名古屋工業会」の支援により鶴桜会が設立されました。年次交流会では、学長を交えて、専門分野を越えた交流が進んでいます。



彩綾 ～SAYA～

女子学生団体「彩綾～SAYA～」は、学科・学年をこえて繋がり、名工大の女子らしく今も未来も輝ける場を作るため、2014年10月に設立されました。



ダイバーシティ教育

イノベーションにおけるダイバーシティの重要性を学ぶダイバーシティ・男女共同参画関連科目を正課科目として開講しています。



女性研究者データベース

工業大学ならではの研究シーズを持つ本学の女性研究者と産業界および地域社会の連携を促進するため、名工大の女性研究者の代表的な研究を公開しています。

多様性人材育成プログラム NITech CAN の主な取り組み

名古屋工業大学は、イノベーション創出の鍵となるダイバーシティ豊かな人材育成において【次世代育成】と【研究者支援】を2つの重要ミッションとして掲げます。地域産業界・同窓会との協働を通じ、これらをC・A・Nの3つのステップで着実に遂行します。

次世代育成

- step 1. **C**omprehending
- step 2. **A**cting
- step 3. **N**etworking

研究者支援

C Comprehending 現状を知る

工学女子キャリア形成塾

研究キャリアへの誘導

全学に向けたダイバーシティ教育

正課科目にダイバーシティ教育を整備

女性研究リーダー養成塾

共同研究・競争的資金獲得支援

メンター制度の拡充

メンター研修の実施

A Acting 変革に向けて行動する

中高生の理系選択支援

企業・自治体との連携

スタートアップ研究費付与

大学院生への研究動機付け

特任研究員等の常勤教員登用

ポジティブアクション

研究促進インセンティブ付与

大型科研費、共同研究奨励

リスタート研究費の付与

キャリアを中断した研究者の復帰支援

ライフイベント支援の拡大

研究員等に支援範囲を拡大

N Networking 繋がり、広げる

OG人材バンクの拡充

企業研究者、技術者、院生も参加

大学間連携会議の実施

所属、職位、世代を超えた情報交換会

女性研究者データベース公開

共同研究に向けた女性研究者情報の集約と公開

女性研究者・技術者の会活動

連携企業研究者・技術者とも連携

プロジェクト特任女性教員の増員

連携企業から招聘